

上地区の 地域まちづくり計画(案)について



平成21年11月11日

上地区地域まちづくり計画策定会議

地域まちづくり計画策定会議

上地区自治会

(まちづくり運動推進委員)

農業委員

自治会から推薦(菖蒲)

// (柳川)

// (八沢)

// (三廻部)

// (湯ノ沢)

委員23名



これまでの主な検討経緯

- 第1回協議検討 (8/20)
 - 地域課題等の抽出、回収及びとりまとめ作業 (8/21 ~ 9/10)
- 第2回協議検討 (9/11)
 - 地域課題の整理、取り組むべき施策の提案 (9/12 ~ 10/14)
- 第3回協議検討 (10/15)
- 上地区タウンミーティング (11/11)



1 現状と課題の整理

(1) 生活環境を取り巻く状況（地域活動等） 地域活動の継続にあたり、人的、物的な対応、 支援が必要です。

- 交通量の増加に伴い、市内一斉美化清掃などの道路清掃では、事故が発生しやすい状況です。
- 不法投棄は地域のパトロールを実施していますが、住民主体の対応には限界があります。



1 現状と課題の整理

(2) 少子高齢化の進行

上地区での少子高齢化を踏まえた対策が必要です。

○地域の子供数の減少は通学時の防犯、子供を対象とした地域行事の在り方に影響します。

○高齢化の進展は地域の産業や地域活動に影響します。



1 現状と課題の整理

(3) 地域の産業と土地利用(農地)

農地の維持や再生のための新たな取り組みが必要です。

- 上地区は都市部に比較的近い場所であり、地域の産業は農業が中心です。近年では農産物の鳥獣による被害や、耕作が営まれない農地が増加しています。



1 現状と課題の整理

(4) 地域交通の確保

上地区の特性や現状にあった交通手段の構築や公共交通だけに頼らない新たな方法の検討が必要です。

- 自家用車の運転を止める高齢者が増えていますが、病院への通院や日用品の買い物などで移動手段の確保は不可欠な状況にあります。



1 現状と課題の整理

(5) 生活道路の交通

迂回通行への対策、246号線の渋滞緩和が必要です。

- 国道246号線の朝、夕の慢性的な渋滞から、市道18号線をはじめ地域の生活道路が渋滞の迂回路となっています。
- 道幅の狭い道路への迂回通行の増加は、交通安全の点から見ても危険です。



2 基本方針

(1) 地域の将来像等

① 目指すまちの姿(将来像)

『自然を守りつつ、人とのふれあいを大切に、
魅力と活力に満ちたまち』

2 基本方針

(2) 将来像や理想の姿を実現するための基本目標

- ① 地区でのふれあいや助け合いが盛んで、みんなが安心してらせるまち
- ② 地域の特性や創造力を生かし、積極的な地域振興が行なわれているまち
- ③ 希少な生物や原風景が守られ、豊かな自然が身近に感じられるまち
- ④ 地域の実態にあった交通形態が備わり、便利でくらしよいまち

3 重点施策や取り組むべき施策の提案

① 生活環境の向上

地区でのふれあいや助け合いが盛んで、みんなが安心してらせるまち

◆ 美化活動への支援や不法投棄防止の強化	
1	美化活動への支援の強化
2	一斉美化清掃への自治会への報償制度の導入
3	不法投棄の予防効果を高めた看板や柵の設置
◆ 福祉施設の増設と介護者への支援	
4	介護施設の増設や地元デイサービスの周知
5	特別養護老人ホームの建設促進
◆ 子育て支援の仕組みづくり	
6	地元での児童受入などの仕組みづくり

◆ 高齢者に優しい生活基盤の整備	
7	週3日程度の診療所の開設
8	食料品や預金の配達のおしきみ
9	NPOによる高齢者協同組合、生きがい生協の設置
◆ 防犯対策の強化	
10	下校する児童のグループ化の推進
11	パトロール腕章の着用推進

3 重点施策や取り組むべき施策の提案

② 地域の振興や活性化

地域の特性や創造力を生かし、積極的な地域振興が行なわれているまち

◆ 産業の振興	
1	独自ブランドの創出
2	地区全体のハイキングコースとしての整備
3	市民農園の拡大や観光農業の推進に向けた環境の整備
◆ 少子高齢化への対応の強化	
4	市道18号線沿の住宅開発
5	農地の宅地転用や分家住宅建設に関する規制の緩和
6	市街化区域の拡大、無指定地域化など都市計画区域の見直し
7	上小学校への自由学区や通学合宿の導入
8	市営住宅の建設

◆ 地域や近隣との連携強化	
9	地域合同の体育祭などの実施
10	世代間交流の促進と活動の継続
11	近隣市町(松田町寄、湯ノ沢地区)との連携強化
◆ 農地の荒廃・鳥獣被害の防止	
12	地域活動への市民参加の拡充
13	新規就農者の支援や子供向け「地域農業塾」の開設
—	市民農園の拡大や観光農業の推進に向けた施設整備〔再掲〕
14	牛、羊、ヤギ等の放牧、防除ネット、電気柵の拡大や檻の設置
15	NPO法人や農業法人による遊休農地の利活用

3 重点施策や取り組むべき施策の提案

③ 自然環境の保全

希少な生物や原風景が守られ、豊かな自然が身近に感じられるまち

◆ 四十八瀬川と周辺整備	
1	河川敷の葦等の除去など、原風景の回復
2	グリーンツーリズムの創出や人が遊べる清流の創設
3	景観の森づくりへの指定による補助
4	改修は親水性を維持する
◆ 里地里山や生き物の里	
5	鎮守の森に照葉樹を中心とする植樹
6	今後の方向性、方針を明確にした宣伝・広報活動の強化
7	地域と連携した生き物の里の継続方法の検討

3 重点施策や取り組むべき施策の提案

④ 基盤整備

地域の実態にあった交通形態が備わり、便利で
くらしよいまち

◆ 地域交通の確保	
1	コミュニティーバスやタクシーバスの運行
2	NPO法人、病院など公共交通機関以外の送迎
3	フレンド号の上地区での運行
◆ 生活道路の整備と道路交通量対策	
4	市道19号線への歩道、横断歩道の設置
5	生活道路の補修計画の策定と実施
6	抜け道化の防止に向けた交通規制の実施
7	国道246号線のバイパスの実現による渋滞解消
◆ 新たな都市基盤やまちづくり	
8	246バイパス、新東名周辺のまちづくりの検討
9	湯ノ沢団地付近に小田急線の駅を開設

4 体系の整理

【基本目標】

【将来像】

『自然を守りつつ、
人とのふれあいを
大切に、魅力と活
力に満ちたまち』

①地区でのふれあいや助け合いが盛んで、
みんなが安心してくらすまち

②地区の特性や創造力を生かし、積極的な
地域振興が行なわれているまち

③希少な生き物や原風景が守られ、豊かな
自然が身近に感じられるまち

④地域にあった交通手段が備わり、便利で
くらしよいまち